

1.	②	11.	②	21.	②	31.	③	41.	①
2.	④	12.	④	22.	④	32.	①	42.	②
3.	③	13.	③	23.	①	33.	②	43.	④
4.	②	14.	④	24.	④	34.	③	44.	③
5.	②	15.	③	25.	④	35.	②	45.	④
6.	①	16.	①	26.	②	36.	③	46.	④
7.	②	17.	④	27.	①	37.	③	47.	①
8.	③	18.	②	28.	③	38.	③	48.	②
9.	③	19.	②	29.	①	39.	②	49.	③
10.	④	20.	③	30.	④	40.	②	50.	①

1.

解答 ②

【解説】

「(仕事・義務)を遂行する、～を演じる」という意味に最も近い英単語は②の **perform** です。仕事や任務、約束などを「行う、果たす」という意味と、音楽や劇などを観客の前で「演じる、演奏する」という二つの主要な意味を持ちます。他の選択肢について、① **permit** は「～を許可する」、③ **perceive** は「～を認識する」、④ **persist** は「固執する、持続する」という意味です。

◆補足：perform の名詞形は **performance** で、「遂行、業績」や「演技、演奏」といった、動詞の二つの意味に対応する意味を持ちます。

2.

解答 ④

【解説】

英単語「**require**」は、「～を要求する、必要とする」という意味の動詞です。規則や状況によって、何かが不可欠であることを示します。例えば、「この仕事は経験を必要とする」は **This job requires experience.** と表現します。選択肢①「～を引退する」は **retire**、②「～に返信する」は **reply**、③「～を後悔する」は **regret** です。

◆補足：**require** は、**need** よりもフォーマルな言葉で、客観的な必要性や規則による要求を表すことが多いです。名詞形は **requirement** (必要条件) です。**require A to do** の形で「A に～するよう要求する」という第五文型の構文も頻出です。

3.

解答 ③

【解説】

正解は③「着陸する」です。land は、名詞として「土地、陸」という意味が基本ですが、動詞としては、飛行機や鳥などが空から地面に「着陸する、降り立つ」という意味で使われます。例文は「その飛行機は着陸の準備をしている」となります。①「出発する」は depart、②「搭乗する」は board、④「到着する」は arrive です。

◆補足：land は「(職や契約などを) 手に入れる」という比喩的な意味で使われることもあります。

例：He landed a great job. (彼は素晴らしい仕事を手に入れた)。

4.

解答 ②

【解説】

正解は②analysis です。この単語は、物事をより深く理解するために、その部分や構造を詳細に調べる「分析」を指します。data analysis (データ分析) のように使われます。①analogy は「類推」、③anecdote は「逸話、秘話」、④anatomy は「解剖学」という意味で、いずれも学術的な文脈で使われることがある単語ですが、意味は異なります。

◆補足：analysis の動詞形は analyze (～を分析する) です。複数形は analyses と、-is が-es になる不規則な形なので注意が必要です。語源はギリシャ語の ana- (上に、さかのぼって) と lysis (分解) で、「さかのぼって分解すること」が元の意味です。

5.

解答 ②

【解説】

正解は②cause です。この動詞は、特に好ましくない結果の直接的な原因となる、すなわち「～を引き起こす、～をもたらす」という意味で広く使われます。The heavy rain caused a flood. (その大雨が洪水を引き起こした)。名詞としても「原因」という意味で重要です。①choose は「～を選ぶ」、③chase は「～を追いかける」、④cease は「やむ、～をやめる」という意味です。

◆補足：cause は cause A B (A に B をもたらす) という第 4 文型や、cause O to do (O に～させる) という第 5 文型の形で使われることが多いです。例：The accident caused him to change his mind. (その事故が彼に考えを変えさせた)。類義語として lead to ~ (～につながる)、result in ~ (～という結果になる)、bring about ~ (～をもたらす) などがありますが、cause は最も直接的な因果関係を示す基本的な単語です。

6.

解答 ①

【解説】

正解は①「使用法、語法」です。usage は、物事の「使い方、使用法」や、言葉の「語法、慣用法」を意味する名詞です。This dictionary provides examples of modern English usage. (この辞書は現代英語の語法の例を提示している)。②「習慣」は custom や habit、③「メッセージ」は message、④「荷物」は baggage や luggage が適切です。

◆補足：usage は動詞 use (使う) の名詞形の一つです。もう一つの名詞形 use (使用、用途) との違いが重要です。the use of computers (コンピュータの使用) のように、単に「使うこと」を指す場合は use が一般的です。一方、usage は「どのように使うか」という方法や慣例に焦点を当てます。data usage (データ使用量) のように、使用量を示す場合にも使われます。

7.

解答 ②

【解説】

「大多数」という意味に最も近い英単語は②の majority です。全体の半分以上を占める、より大きな部分や集団を指します。例えば、「学生の大多数」は the majority of students と表現します。他の選択肢について、① minority は「少数派」で、majority の明確な対義語です。③ majesty は「威厳」、④ maturity は「成熟」を意味します。

◆補足：majority は、形容詞 major (主要な、大きい方の) の名詞形です。a large majority (圧勝)、a slim majority (僅差の過半数) といった表現も使われます。

8.

解答 ③

【解説】

英単語「receipt」は、「領収書、レシート」という意味の名詞です。商品やサービスの代金を支払ったことの証明となる紙片を指します。例えば、「領収書をもらえますか」は Can I have a receipt, please? と表現します。選択肢①「処方箋」や②「レシピ」は recipe で、スペルと意味を混同しやすいので注意が必要です。④「受付」は reception です。

◆補足：receipt /rɪ'si:t/ の発音では、p が発音されない黙字である点が非常に重要です。動詞 receive (～を受け取る) の名詞形であり、「お金を受け取ったことの証明」と考えると覚えやすいでしょう。

9.

解答 ③

【解説】

英単語「serve」は多義語ですが、「食事を出す」以外で非常に重要な意味の一つが、「(～として) 務める、役立つ」です。ある役割や職務を果たすことや、ある目的のために機能することを指します。例えば、「軍隊に務める」は **serve in the army** と表現します。選択肢①「～に値する」は **deserve**、②「～を予約する」は **reserve**、④「～を保存する」は **preserve** です。

◆補足：serve as ～ の形で「～として役立つ」という意味の頻出表現になります。名詞形は **service** (奉仕、勤務) です。

10.

解答 ④

【解説】

「期待、予想」という意味に最も近い英単語は④の **expectation** です。将来何かが起こるだろう、あるいはそうあるべきだという強い信念や見込みを指します。例えば、「期待に応える」は **meet expectations** と表現します。他の選択肢について、① **exception** は「例外」、② **explanation** は「説明」、③ **exploration** は「探検」という意味で、スペルが似ているため注意が必要です。

◆補足：**expectation** は、動詞 **expect** (～を期待する、予期する) の名詞形です。**live up to one's expectations** (～の期待に応える) や **beyond one's expectations** (期待以上に) といった表現も重要です。

11.

解答 ②

【解説】

「～のためになる」という意味の英語表現は②の **do ~ good** です。主語が目的語（人や物）にとって「良い影響を与える」「利益をもたらす」という意味で使われます。例えば、「毎日野菜を食べることは、あなたのためになります」は **Eating vegetables every day will do you good.** のように使います。①は「～の頼みを聞き入れる」、③は「～に害を与える」、④は「～なしで済みます」という意味です。

◆補足：**do ~ good** の **good** は、「利益、善」といった意味の名詞として機能しています。対義表現である **do ~ harm** (～に害をなす) とセットで覚えるのが効果的です。例えば、**Smoking does more harm than good.** (喫煙は百害あって一利なし) のように使われます。

12.

解答 ④

【解説】

英語表現「**go by** ～」は、時間が主語の場合、「(時間が) 経過する、過ぎ去る」という意味になります。例えば、「時間が経つにつれて」は **as time goes by** と表現します。選択肢①「～を経験する」は

go through ～、②「～に賛成する」は go with ～ や go along with ～、③「～なしで済みます」は go without ～ が対応します。

◆補足：go by ～ は、「～によって判断する」(go by the rules ルールに従って判断する) や、「～のそばを通り過ぎる」(go by the post office 郵便局のそばを通る) といった意味も持つ多義的な句動詞です。文脈で意味を判断しましょう。

13.

解答 ③

【解説】

「疑い」という意味に最も近い英単語は③の doubt です。何かが真実かどうか確信が持てない気持ちを指します。例えば、「疑いの余地なく」は without a doubt と表現します。他の選択肢について、① debt は「借金」、② drought は「干ばつ」、④ draft は「下書き」です。

◆補足：doubt の発音は /daʊt/ で、b は発音しない黙字である点に注意が必要です。動詞としても「～を疑う」という意味で使われます。形容詞形は doubtful (疑わしい) です。

14.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を確信している」です。be positive of ～は、何かについて全く疑いを持たず、「～を確信している」状態を表します。I am positive of his success. (私は彼の成功を確信している)。①「～に積極的である」は be positive about ～、②「～に満足している」は be satisfied with ～、③「～に気づいている」は be aware of ～が適切です。

◆補足：be positive that ... の形で、後ろに節を続ける使い方がより一般的です。I am positive that he will succeed. (彼が成功することを確信している)。形容詞 positive は「肯定的な、積極的な」の他に、「確信して」という意味も持つことを覚えておきましょう。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③「競争する」です。compete は、スポーツやビジネスなどで、勝利や優位性を得るために他者と「競争する、張り合う」ことを意味する動詞です。compete with/against ～ for ... (…を巡って～と競争する) の形でよく使われます。They are competing for the first prize. (彼らは一等賞を巡って競争している)。①「完成させる」は complete、②「比較する」は compare、④「不平を言う」は complain です。

◆補足：compete の名詞形は competition（競争、競技会）、競争相手は competitor、形容詞形は competitive（競争の、競争力のある）です。これらは関連語としてまとめて覚えることが重要です。

16.

解答 ①

【解説】

「～する（経済的・時間的な）余裕がある」という意味に最も近い英単語は①の afford です。主に can や be able to と共に使われ、can afford to do（～する余裕がある）や can afford A（A を手に入れる余裕がある）という形で用いられます。通常、否定文や疑問文で使われることが多いのが特徴です。他の選択肢について、② offer は「～を提供する、申し出る」、③ effort は名詞で「努力」、④ avoid は「～を避ける」という意味です。

◆補足：afford は「(余裕があつて) ～できる」という可能性を表すため、助動詞 can や be able to とセットで使われるのが基本です。形容詞形は affordable で、「手頃な価格の」という意味になり、製品の価格について説明する際によく使われる重要単語です（例: an affordable price）。

17.

解答 ④

【解説】

正解は④weight です。この単語は、物がどれだけ重いかを示す「重さ、重量」や、人の「体重」を意味します。lose weight（減量する）や gain weight（体重が増える）は頻出の表現です。①height は「高さ、身長」、②width は「幅」、③depth は「深さ」を意味します。これらは寸法を表す基本的な単語として重要です。

◆補足：weight の動詞形は weigh（～の重さがある、～の重さを量る）です。名詞と動詞でスペルが異なるので注意しましょう。例：How much do you weigh?（体重はどのくらいですか？）。形容詞形は heavy（重い）です。比喩的に「重要性、重み」という意味で weight が使われることもあります。例：His opinion carries a lot of weight.（彼の意見には大きな重みがある）。

18.

解答 ②

【解説】

「程度、範囲」という意味に最も近い英単語は②の extent です。物事の規模、重要性、深刻さなどの度合いを指します。例えば、「被害の程度」は the extent of the damage と表現します。他の選択肢について、① intent は「意図」、③ event は「出来事」、④ exit は「出口」です。

◆補足：to some extent（ある程度まで）や to a large extent（大部分は）といった副詞句は、意見を述べたり、状況を評価したりする際に頻繁に使われる重要な表現です。

19.

解答 ②

【解説】

正解は②「制御不能で」です。out of control は、車や火、人の感情などが誰にもコントロールできない状態、すなわち「手に負えない、制御不能な」状態を表す表現です。The car went out of control and crashed. (その車は制御不能になり衝突した)。①「流行遅れで」は out of date、③「故障中で」は out of order、④「在庫切れで」は out of stock です。これらはすべて out of ~を使った重要表現なので、セットで覚えると効果的です。

◆補足：対義語は under control (制御されて、管理下にあって) です。get out of control で「手に負えなくなる」という変化を表します。control (制御、支配) の範囲の外 (out of) にある、というイメージで捉えると覚えやすいでしょう。

20.

解答 ③

【解説】

正解は③「保護」です。protection は、危険、損害、病気などから守ること、すなわち「保護、防御」を意味する不可算名詞です。This cream offers good protection from the sun. (このクリームは太陽から肌をしっかり保護してくれる)。①「生産」は production、②「予測」は prediction、④「提案」は proposal です。

◆補足：protection の動詞形は protect (～を守る) で、protect A from B (B から A を守る) の形で使うのが基本です。environmental protection (環境保護) や data protection (データ保護) など、様々な分野で使われる重要語です。

21.

解答 ②

【解説】

「投票する」という意味に最も近い英単語は②の vote です。選挙や会議などで、公式に自分の選択や意見を示す行為を指します。例えば、「大統領に投票する」は vote for the president と表現します。他の選択肢について、① devote は「～を捧げる」、③ note は「～に気づく、～を書き留める」、④ quote は「～を引用する」という意味です。

◆補足：vote は名詞としても使われ、「投票、票」を意味します。vote for ~ (～に賛成投票する)、vote against ~ (～に反対投票する) の形を覚えておきましょう。

22.

解答 ④

【解説】

「建築家」という意味に最も近い英単語は④の **architect** です。建物の設計や建設の監督を職業とする人を指します。例えば、「有名な建築家によって設計された」は **designed by a famous architect** と表現します。他の選択肢について、① **artist** は「芸術家」、② **activist** は「活動家」、③ **archaeologist** は「考古学者」という意味です。

◆補足：**architect** の関連語として、名詞 **architecture**（建築、建築様式）があります。語源はギリシャ語の **arkhi-**（第一の、主要な）と **tektōn**（建設者）で、「建設者の長」というのが元の意味です。比喩的に、計画やシステムの「設計者」という意味で使われることもあります。

23.

解答 ①

【解説】

英単語「**presentation**」は、「発表、プレゼンテーション」という意味の名詞です。人々の前で、特定のテーマについて情報や考えを話したり見せたりすることを指します。例えば、「プレゼンテーションを行う」は **give a presentation** と表現します。選択肢②「現在」は名詞の **present**、③「保護」は **preservation**、④「圧力」は **pressure** です。

◆補足：**presentation** の動詞形は **present** で、/prɪ'zent/（プレゼント）と後ろにアクセントが置かれ、「～を発表する、贈る」といった意味になります。名詞の **present** /'preznt/（プレゼント）とはアクセントの位置が異なる点に注意が必要です。

24.

解答 ④

【解説】

正解は④「緊張している」です。**nervous** は、試験やスピーチの前など、これから起こることに対して心配や不安を感じ、「緊張している、あがっている」状態を表す形容詞です。**I always get nervous before giving a presentation.**（私はプレゼンテーションの前はいつも緊張します）のように使います。①「怒っている」は **angry**、②「退屈している」は **bored**、③「興奮している」は **excited** が対応します。

◆補足：**nervous** と似た単語に **anxious** がありますが、**nervous** が特定の出来事に対する一時的な「緊張」を表すことが多いのに対し、**anxious** はより漠然とした、あるいは長期的な「心配、不安」を表す傾向があります。また、**excited** は「ワクワクしている」というポジティブな感情を表すのに対し、**nervous** はネガティブな、落ち着かない気持ちを表すという違いがあります。

25.

解答 ④

【解説】

正解は④の **negotiate** です。**negotiate** は、合意に達するために、対立する当事者間で公式に話し合うこと、すなわち「交渉する」という意味の動詞です。**The company is negotiating a new contract with the labor union.**（会社は労働組合と新しい契約について交渉している）のように使います。① **discuss** は「～について話し合う、議論する」、② **decide** は「～を決定する」、③ **argue** は「口論する、主張する」という意味です。

◆補足：**negotiate** は、ビジネスや外交など、フォーマルな場面で合意形成を目指す話し合いに使われます。単に話し合う **discuss** とは異なり、利害が対立する中で妥協点を見出す、という目的意識が強いのが特徴です。名詞形は **negotiation**（交渉）で、**a peace negotiation**（和平交渉）のように使われます。

26.

解答 ②

【解説】

英語表現「**carbon dioxide**」は、「二酸化炭素」を指す名詞です。化学式は CO_2 で、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの一つとして知られています。例えば、「工場は大量の二酸化炭素を排出する」のように使います。選択肢①「一酸化炭素」は **carbon monoxide**、③「炭水化物」は **carbohydrate**、④「炭素繊維」は **carbon fiber** であり、いずれも **carbon** を含む言葉ですが、指すものは異なります。

◆補足：**carbon** は「炭素」を意味します。接頭辞 **di-** は「2」を意味し、**oxide** は「酸化物」を意味します。つまり、**di-** + **oxide** で「二酸化物」となり、**carbon dioxide** で「炭素の二酸化物」＝「二酸化炭素」となります。同様に、接頭辞 **mono-** は「1」を意味するため、**carbon monoxide** は「一酸化炭素」となります。こうした接頭辞の意味を知っていると、化学関連の英単語が覚えやすくなります。

27.

解答 ①

【解説】

「～を促進する、昇進させる」という意味に最も近い英単語は①の **promote** です。販売を「促進」したり、人をより高い地位に「昇進」させたり、物事の発展を「奨励」したりと、文脈に応じて様々な意味で使われます。他の選択肢について、② **promise** は「～を約束する」、③ **propose** は「～を提案する」、④ **protect** は「～を守る」という意味です。

◆補足：**promote** の語源は、ラテン語の **pro-**（前へ）と **movere**（動かす）で、「前へ動かす」というのが中心的なイメージです。このイメージが、販売促進、昇進、発展の奨励といった、様々な「前進」させる行為につながっています。名詞形は **promotion** です。

28.

解答 ③

【解説】

「光景、名所」という意味に最も近い英単語は③の **sight** です。目に見えるものや、その場の様子を指します。複数形の **sights** は、観光地の「名所、見どころ」という意味で頻繁に使われます。例えば、「街の名所を見て回る」は **go sightseeing** と表現します。他の選択肢について、① **site** は「用地、現場、ウェブサイト」を意味する同音異義語で、注意が必要です。② **light** は「光」、④ **might** は助動詞で「～かもしれない」または名詞で「力」を意味します。

◆**補足**：**sight** には「視力、視覚」という意味もあります（例: **poor eyesight** 視力が悪い）。重要な熟語として、**catch sight of** ～（～を見かける）、**at first sight**（一目で）、**lose sight of** ～（～を見失う）などがあります。

29.

解答 ①

【解説】

「～に（予期せず）遭遇する」という意味に最も近い英単語は①の **encounter** です。人や物に偶然出会ったり、困難や問題に直面したりすることを指します。例えば、「私たちは予期せぬ困難に遭遇した」のように使います。他の選択肢について、② **encourage** は「～を励ます」、③ **endure** は「～に耐える」、④ **enter** は「～に入る」という意味です。

◆**補足**：**encounter** は、**come across** ～ や **run into** ～ と似ていますが、よりフォーマルな響きがあり、特に困難な状況との遭遇を表す際によく使われます。名詞としても「遭遇」という意味で使われます。

30.

解答 ④

【解説】

英単語「**temporary**」は、「一時的な、臨時的の」という意味の形容詞です。永続的ではなく、限られた期間だけ続くことを表します。例えば、「一時的な仕事」は **a temporary job**、「臨時の解決策」は **a temporary solution** と表現します。選択肢①「現代的な」は **contemporary**、②「伝統的な」は **traditional**、③「退屈な」は **tedious** や **boring** です。

◆**補足**：**temporary** の対義語は **permanent**（永久的な、常設の）です。この二つは対で覚えることが重要です。副詞形は **temporarily**（一時的に）です。語源はラテン語の **tempus**（時間）であり、**time** と同じルーツを持っています。

31.

解答 ③

【解説】

英単語「degree」は、「程度、度合い」という意味の名詞です。物事のレベルや量を指します。また、温度や角度の単位である「度」や、大学の「学位」といった意味も持ちます。選択肢①「同意する」は動詞の agree、②「劣化する」は動詞の degrade、④「遅らせる」は動詞の delay です。

◆補足：a high degree of ～（高度な～）や to some degree（ある程度まで）といった表現は頻出です。様々な意味を持つ多義語なので、文脈に合わせて意味を判断することが大切です。

32.

解答 ①

【解説】

英単語「exhibition」は、「展覧会、展示会」という意味の名詞です。美術品や工業製品などを、一般の人々に見せるために公の場で展示する催しを指します。例えば、「美術展」は an art exhibition と表現します。選択肢②「禁止」は prohibition、③「探検」は expedition、④「期待」は expectation です。

◆補足：exhibition は、動詞 exhibit（～を展示する）の名詞形です。語源はラテン語の ex-（外へ）と habere（持つ）で、「外に持ち出して見せる」というイメージが核となっています。

33.

解答 ②

【解説】

「何とか～をやり遂げる」という意味に最も近い英単語は②の manage です。manage to do の形で、困難なことを努力の末に成功させることを表します。例えば、「彼は何とか最終電車で間に合った」は He managed to catch the last train. と表現します。他の選択肢について、① damage は「～に損害を与える」、③ imagine は「～を想像する」、④ arrange は「～を手配する」という意味です。

◆補足：manage には、「～を経営する、管理する」というもう一つの重要な意味があります。manager（経営者）や management（経営）という名詞形と関連付けて覚えると良いでしょう。文脈によってどちらの意味かを判断する必要があります。

34.

解答 ③

【解説】

正解は③「産業」です。industry は、特定の種類の商品やサービスを生産・提供する経済活動の分野、すなわち「産業、～業界」を指します。the car industry（自動車産業）や the tourism industry（観光産業）のように使われます。①「勤勉」も industry の持つ意味ですが、この文脈には合いません。②「工場」は factory、④「会社」は company が適切な単語です。

◆補足：industry には「産業」の他に「勤勉」という意味があることも重要です。His success is due to his industry.（彼の成功は勤勉さのおかげだ）。形容詞形は industrial（産業の）と industrious（勤勉な）の二つがあり、意味が全く異なるため、区別して覚える必要があります。

35.

解答 ②

【解説】

正解は②の ever since…です。この表現は、過去のある時点を基準にして、「その時からずっと今まで」と、行為や状態が継続していることを強調します。I've lived in this town ever since I was born.（私は生まれて以来、ずっとこの町に住んでいます）のように、主節では現在完了形が使われることが非常に多いです。① even if…は「たとえ～だとしても」、③ just before…は「～の直前に」、④ long after…は「～のずっと後に」という意味で、時の関係が異なります。

◆補足：ever since…の ever は「ずっと」という強調の働きをしており、単に since と言うよりも、継続している期間の長さをより強く表現します。ever since は接続詞として後ろに「主語＋動詞」を伴うことも、前置詞として名詞を伴うこともできます。例えば、Ever since that day, he has been a different person.（あの日以来ずっと、彼は別人のようだ）のように使います。

36.

解答 ③

【解説】

正解は③be home to です。この表現は、ある場所が、多くの動植物にとっての「すみか、生息地である」、あるいは有名な建物や組織の「所在地である」ことを示します。This forest is home to many rare birds.（この森は多くの珍しい鳥たちの生息地だ）。①be open to は「～に開かれている」、②be close to は「～に近い」、④be new to は「～は初めてである」という意味です。

◆補足：home が持つ「安らげる場所、本拠地」という温かいニュアンスが、この表現の背景にあります。単に「～がある」と言うよりも、その場所が「～にとっての故郷のような場所だ」という豊かな意味合いを伝えます。

37.

解答 ③

【解説】

正解は③の **help A (to) do** です。この構文は、「A（人）が～するのを手伝う、助ける」という意味を表します。**Could you help me carry this bag?**（このカバンを運ぶのを手伝ってくれませんか？）のように使います。① **make A do** は「A に（強制的に）～させる」、② **let A do** は「A に～させてあげる」、④ **have A do** は「A に～してもらう」という意味で、いずれも A に何かをさせる使役動詞の用法ですが、意味が異なります。

◆補足：**help A (to) do** の構文で特筆すべき点は、目的格補語となる動詞の前に **to** を置いても、置かなくても（原形不定詞でも）よいという点です。つまり、**help me carry** と **help me to carry** はどちらも正しい英語です。これは **help** 動詞のユニークな特徴で、他の使役動詞や知覚動詞とは異なるため、文法問題で頻繁に問われるポイントです。

38.

解答 ③

【解説】

正解は③「～するよう強く勧められる」です。動詞 **urge** は「～を強く促す、説得する」という意味で、その受動態である **be urged to do** は、誰かから何かをするように力強く勧められたり、説得されたりすることを表します。**Visitors are urged to book their tickets in advance.**（訪問者は前もってチケットを予約するよう強く勧められます）。①「～することに慣れている」は **be used to doing**、②「～することになっている」は **be supposed to do**、④「～することをためらう」は **hesitate to do** です。

◆補足：**urge** は、単に「勧める」(**recommend**) よりも、緊急性や重要性が高く、相手に行動を強く「促す」というニュアンスがあります。名詞としても「(抑えがたい) 衝動」という意味で使われます。例：**an urge to laugh**（笑いたい衝動）。

39.

解答 ②

【解説】

英単語「**existence**」は、「存在、実在」という意味の名詞です。人や物事が、実際にそこにある状態を指します。例えば、「神の存在を信じる」は **believe in the existence of God** と表現します。選択肢①「出口」は **exit**、③「運動」は **exercise**、④「経験」は **experience** です。

◆補足：**existence** は、動詞 **exist**（存在する）の名詞形です。**come into existence**（出現する、生まれる）という表現もよく使われます。

40.

解答 ②

【解説】

正解は②「一部分、分け前」です。**portion** は、より大きな全体の中の「一部分、一部」を指します。また、食事の「一人前」や、遺産などの「分け前」といった意味でも使われます。I ate a large portion of the cake. (私はそのケーキの大部分を食べた)。①「毒」は **poison**、③「肖像画」は **portrait**、④「位置」は **position** です。

◆補足：**portion** は **part** と似ていますが、**portion** は全体から分割された「割り当て」というニュアンスが強いです。例えば、レストランで出される食事の「一人前の量」は **a portion of food** と言います。

41.

解答 ①

【解説】

「～に対して責任がある」という意味に最も近い英語表現は①の **be responsible for** です。何かを行う義務があることや、起こった出来事の原因であることを示します。例えば、「彼はその事故の責任を負っている」のように使います。他の選択肢について、② **be responsive to** は「～によく反応する」、③ **be related to** は「～に関係がある」、④ **be ready for** は「～の準備ができている」という意味です。

◆補足：**be responsible for** は、仕事上の「職務」を表す場合と、悪い結果に対する「原因・非難の対象」を表す場合があります。名詞形は **responsibility** (責任) です。

42.

解答 ②

【解説】

英単語「**political**」は、「政治の、政治的な」という意味の形容詞です。政府や国の公的な事柄に関連することを指します。例えば、「政治的な問題」は **a political issue**、「政党」は **a political party** と表現します。選択肢①「礼儀正しい」は **polite**、③「人気のある」は **popular**、④「実用的な」は **practical** です。

◆補足：**political** の関連語として、**politics** (名詞：政治、政治学)、**politician** (名詞：政治家)、**policy** (名詞：政策) があります。これらはスペルや意味が似ているため、混同しないよう正確に覚えることが重要です。

43.

解答 ④

【解説】

「百万長者、大富豪」という意味に最も近い英単語は④の **millionaire** です。百万ドル（またはポンドなど）以上の資産を持つ非常に裕福な人を指します。例えば、「彼は若くして百万長者になった」のよ

うに使います。他の選択肢について、① missionary は「宣教師」、② minister は「大臣、牧師」、③ merchant は「商人」を意味します。

◆補足：millionaire は、数字の million（百万）に、人を表す接尾辞 -aire が付いた形です。この -aire はフランス語由来で、billionaire（億万長者）のように他の単語でも見られます。

44.

解答 ③

【解説】

英語表現「on a daily basis」は、「日常的に、毎日」という意味です。daily や everyday と同じ意味ですが、よりフォーマルな響きがあり、ビジネスやニュース記事などで好んで使われます。例えば、「彼は日常的に運動している」は He exercises on a daily basis. と表現できます。選択肢①「将来的に」は in the future、②「基本的に」は basically、④「直接的に」は directly などが対応する表現です。

◆補足：この表現の basis は「基礎、基準」という意味の名詞です。"on a ~ basis" の形で「～を基準として、～のペースで」という意味になり、daily 以外にも様々な単語と結びつきます。例えば、on a weekly basis（毎週）、on a monthly basis（毎月）、on a regular basis（定期的に）、on a case-by-case basis（ケースバイケースで）など、応用の利く便利な表現です。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を尊敬する」です。look up to ~は、誰かを敬意や称賛の念をもって見る、すなわち「～を尊敬する」という意味の句動詞です。He is a great leader that everyone in the company looks up to.（彼は社内の誰もが尊敬する、素晴らしいリーダーだ）のように使います。①「～の世話をする」は look after ~、②「～を見下す」は look down on ~、③「～を調べる」は look up ~が対応し、いずれも look を使った重要表現ですが意味が異なります。

◆補足：look up to ~という表現の由来は、文字通り、自分より背が高い人や高い場所にいる人を「見上げる（look up）」という動作にあります。この物理的な動作が、比喩的に社会的地位や能力が上の人を敬う「尊敬」の意味で使われるようになりました。対義語である look down on ~（～を見下す）とセットで覚えると、イメージが掴みやすく記憶に定着しやすいでしょう。

46.

解答 ④

【解説】

英単語「attractive」は、「魅力的な、人を引きつける」という意味の形容詞です。人の外見だけでなく、物や考え、提案などが魅力的である場合にも広く使われます。例えば、「魅力的な申し出」は an attractive offer と言います。選択肢①「効果的な」は effective、②「攻撃的な」は aggressive、③「代わりの」は alternative が対応する単語であり、意味が異なります。

◆補足：attractive は、動詞 attract（～を引きつける、魅了する）の形容詞形です。名詞形は attraction（魅力、引きつけること、名所）です。ラテン語の ad-（～の方へ）+ trahere（引く）が語源で、「～の方へ引く」というのが核となるイメージです。類義語の charming は主に人の性格や態度が「愛嬌のある、感じの良い」ことを表し、appealing は人の心に「訴えかける」ような魅力を指します。

47.

解答 ①

【解説】

「料金、手数料」という意味に最も近い英単語は①の charge です。提供されるサービスや商品に対して請求されるお金全般を指します。例えば、「追加料金」は an additional charge と言います。他の選択肢も料金を表しますが、用途が異なります。② fare はバスや電車などの「運賃」、③ fee は弁護士や医者など専門家への「謝礼、報酬」や、入場料・会費などを指します。④ rent は家や土地などの「家賃、賃貸料」です。

◆補足：charge は多義語で、動詞としては「～を請求する」「～を非難する」「～を充電する」「～に突撃する」など、様々な意味を持ちます。名詞としても「料金」の他に「非難、告発」「責任、管理」といった意味があります。熟語 "in charge of ～"（～を担当して、～の責任者で）は頻出です。

48.

解答 ②

【解説】

正解は②mind です。mind は、人が考えたり、感じたり、覚えたり、推論したりする能力、すなわち「心、精神、知性」を指します。特に論理的な思考や知性の側面を強調することが多いです。①heart は、愛情や同情といった「感情、心情」の中心を指します。③soul は「魂、精神」で、より宗教的・哲学的なニュアンスを持ちます。④mood は「(一時的な) 気分、機嫌」です。

◆補足：mind は動詞としても重要で、「～を気にする、嫌がる」という意味があります。Would you mind opening the window?（窓を開けていただけますか?）。また、bear/keep ~ in mind（～を心に留めておく）や make up one's mind（決心する）、change one's mind（考えを変える）など、多くの重要熟語で使われます。

49.

解答 ③

【解説】

正解は③「装備、機材」です。equipment は、特定の活動や目的のために必要となる道具や機械類一式、すなわち「装備、機材、設備」を指す、集合的な不可算名詞です。sports equipment（スポーツ用品）や camping equipment（キャンプ用品）のように使います。①「実験」は experiment、②「環境」は environment、④「要素」は element です。

◆補足：equipment は不可算名詞なので、通常は複数形の-s をつけません。数えるときは a piece of equipment のように表現します。動詞形は equip（～に備え付ける）で、be equipped with ~（～が備わっている）という形でよく使われます。

50.

解答 ①

【解説】

英単語「annual」は、「年一回の、毎年の」という意味の形容詞です。年に一度起こることや、一年間に関わることを示します。例えば、「年次報告書」は an annual report、「年間収入」は annual income と表現します。選択肢②「動物」は animal、③「別の」は another、④「古代の」は ancient です。

◆補足：annual の語源は、ラテン語で「年」を意味する annus です。anniversary（記念日）も同じ語源を持っています。副詞形は annually（毎年）です。
